

今は幸せでも...

たまゆら火災1年 生存者は

都心の貧しいお年寄りたちの受け皿になっていた。群馬県渋川市の高齢者向け住宅「静養ホームたまゆら」。10人が死亡した火災が起きて、19日で1年を迎える。生き残った入居者は、いま、どう暮らしているのか。

「結局 行き場ない」

東京都墨田区の小さな公園。元入居者の男性(80)は、地面から飛び出た木の根を、コシで切っていた。「つまずく危ないからね。毎日5時間、自主的にこの公園を歩けるようになったらいい」。火災後、区から生活保護者向けの都内の施設をあっせんさ

されたが、自立した生活は困難とみなされ、台東区の介助付きの施設に移った。昨年6月、開所したばかりの墨田区内の施設に落ち着いた。民間運営で、有料老人ホームなど

法律上の届け出はない。4畳弱の個室にはベッドとトランクだけで、料金は月約14万円。生活保護費のうち手元に残るのは約7千円。そこから掃除道具を買う。それでも「3食ちゃんとお出、幸せ」と話す。

福井県生まれ。妻は娘の誕生直後に家を出て行った。約3年後、今度は自分が美家に娘を残し、飛び出した。墨田区の遊戯施設の経営会社に勤め、退職後は酒におぼれた。時々、娘を捨てた罪悪感にさいなまれる。勤めていた

る「娘が高校卒業後、東京都に働き出した」と親からの手紙で知ったが、返事は出さなかった。「今更探したってねえ……」

別の元入居者の男性(62)は、火災のちぎりで入院した病院を昨年6月に退院し、都内の無料低額宿泊所に来た。住まいのない人を一時的に宿泊させて生活再建を支援する。社会福祉法に定められた施設だ。

たまゆらをおあつせした文京区の担当者「もう一度ご変な所には入れませ」と、探してくれた。福井県出身。東京で働いたが、40代になって病気で失業し、日雇いだ。07年に失明。区の生活保護を受けた。08年2月、たまゆらに入居した。

新しい落ち着き先の料金は食費や光熱費などを含め月約14万円。18の個室は高齢の生活保護受給者で埋まる。「室くもに当たったんですよ。でも僕だけ幸せになつていいのかな……」。3畳の自室で、男性はつぶやいた。

施設を運営するNPO法人の代表者の女性は「本来、一定期間が過ぎたら出て行く施設でも地価の高い都内で、介護が必要な貧しい高齢者が入れの所は少ない。こういう施設も必要だ」と話す。

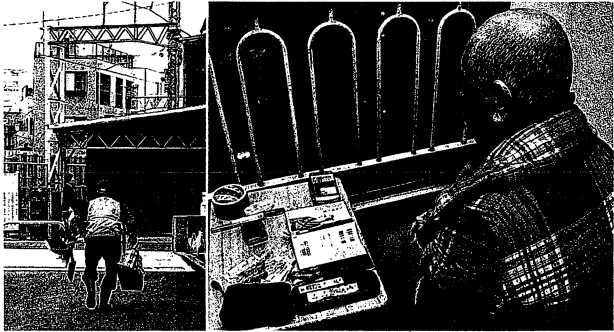
転居できない人も

焼け出された12人のうち、7人は東京都墨田区、1人は同文京区、1人は群馬県高崎市の生活保護を受けていた。ほかにも女性1人が東京の生活保護受給者だ。区や市は落ち着き先をあっせんしたが、あつせん先を出ない人もいる。

墨田区では、高齢者居住法に規定された高齢者専用の賃貸住宅のうち、有料老人ホームと同等の基準を満たした適合高齢者専用賃貸住宅(適合高専)も無料低額宿泊所を探したが、有料老人ホームの届け出をしていない施設しか見つからないケースもあつ

た。区は、元入居者を受け入れてくれた施設の運営法人にスプリングラー設置の補助金を出すことを決めた。男性(55)は、都内の施設をあっせんされたが、窃盗事件を起こした。昨年10月、東京地裁で窃盗罪により懲役1年8カ月の実判決を受け、服役中だ。80代の男性は、今も別館に残る。認知症で在宅介護は難しく、家族が片道2時間以上かけて、たびたび見舞いに訪れる。都内や近県に移転先を探しているが、入居料が高く、見つからないという。

(瀧沢貴子)



性別・年齢	生活保護の受給先	火災後	要介護度や障害の程度
男(76)	墨田区	茨城県の適合高専賃	要介護度は不明
女(90)	墨田区	同上	要支援
男(72)	墨田区	墨田区の無届け施設	要支援
男(65)	墨田区	前橋市の適合高専賃	要介護度は不明
男(55)	墨田区	窃盗罪で有罪判決を受け服役	特定疾患指定の難病
男(69)	群馬県高崎市	高崎市の養護老人ホーム	要介護度は不明
男(83)	東京都内	たまゆらの別館に残る	認知症
女(86)	群馬県高崎市	火災当日に群馬の別館に在居したが、肺炎で入院	要介護度は不明
女(77)	東京都内	前橋市の適合高専賃	要介護度は不明

■火災当時たまゆらに入居していた人たちのその後 (要介護度や生活保護受給状況は火災発生当時)